

会社名 **東振化学 株式会社**

本社	〒103-0028 東京都中央区八重洲1-7-4 矢満登ビル4F		
電話	03(3272)0801(代)	FAX	03(3272)0809
代表者	代表取締役社長 平野 淳		
資本金	9,500万円	創立	昭和23年6月8日

役員氏名	会社沿革及び概要
代表取締役社長 平野 淳	昭和23年 松ヤニを原料にテルペン油の精製を目的として会社を設立。広島県福山市に工場を開設、操業開始。
常務取締役 中村 信次	昭和24年 商工省ゴム皮革課の要請に協力してゴム軟化剤としてバインタール（テルペン油精製後の釜残タール）を集荷・製造。
取締役 森本 則次	昭和27年 工場がロジン及びベルテン油のJIS規格工場に認定。様々なロジン誘導体の研究・製造に励む。
執行役員 館 哲也	昭和28年 製造業に並行して、当時播磨期にあった界面活性剤の農業用乳化剤としての応用普及に努める。
執行役員 酒井 啓介	昭和30年 国産ロジンの枯渇により、工場を閉鎖。商社として、界面活性剤の応用開発に専心。
執行役員 藤本 善久	界面活性剤の知識を応用して、最終製品の付加価値を高める添加剤の開発及び用途拡大を推進。その中でも、流動パラフィン・粉末リグノスルホネートの国産化、塗料・香粧品・農業等の様々なジャンルの添加剤・助剤・変性改質剤の開発・安定供給は当社の技術の幅を豊かにした。
執行役員 北川 公大	さらに技術型商社として、取引先のジャンルを化学業界全般に拡大し、現在の基盤を築いた。
執行役員 名里 豊	昭和39年 大阪営業所を開設。
	昭和44年 大阪営業所を現住所に移転。
	昭和63年 界面活性剤で培ったノウハウを生かし、添加剤の販売に留まらず、取引ジャンルの拡がり（マーケティングの独自性）、扱う製品の幅の広さ（原料から産業機器まで）、提供できる情報の豊かさ（最新原料情報から商品提案まで）を3大軸として、各方面に有機的に日々拡がり続ける企業として研鑽を積み重ねている。
	平成7年 本社を現住所に移転。
	市場ニーズにきめ細かく対応できる商社としてさらなる飛躍をめざす。
	平成20年 創立60周年。大阪営業所を大阪支店とする。

支 店

大阪支店 〒541-0052  
 大阪市中央区安土町1-7-13  
 トヤマビル4F  
 TEL 06(6261)7741 FAX 06(6261)7967

発 売 主 要 商 品

〈取扱品目例〉

エステルオイル、動植物油、炭化水素油、ワックス、界面活性剤、脂肪酸、高級アルコール、シリコン類、水系増粘剤、油性増粘剤、抗炎症剤、抗しわ剤、抗酸化剤、アンチエイジング原料、保湿剤、植物エキス、コラーゲン、紫外線吸収剤、粉体原料、各種機能性添加剤、各種健康食品素材

〈主要仕入先〉

旭化成ケミカルズ、花王、片倉チッカリン、クニミネ工業、高研、常磐植物化学研究所、日清オイリオグループ、日本食品化工、日本水産、日本精化、日本バリアフリー、日本ルーブリゾール（LIPOTEC）、松村石油、丸善製薬、三菱化学フーズ、横関油脂工業、理研ビタミン、Natural Plant Products

上記以外にも幅広い業界から、様々な商品を取り扱うことが可能です。